

記念式典

8:00	塾旗掲揚 記念館ホール	
9:30	受付開始	
10:00	開会の辞	司会：須田哲夫（フジテレビ）1971年法学部卒 秋沢淳子（TBS）1991年法学部卒
	開会宣言	植村裕之 大会実行委員長
	塾旗登壇～掲揚「慶應賛歌」	ワグネル・ソサエティー男声合唱団 應援指導部吹奏楽団
	「塾歌」斉唱	ワグネル・ソサエティー男声合唱団 應援指導部吹奏楽団
	会長挨拶	服部禮次郎 慶應連合三田会会長
	塾長祝辞	安西祐一郎 慶應義塾長
	「若き血」斉唱	ワグネル・ソサエティー男声合唱団 應援指導部吹奏楽団
	塾旗降納「丘の上」	ワグネル・ソサエティー男声合唱団 應援指導部吹奏楽団
10:50	閉会の辞	須田哲夫・秋沢淳子

スター女性アナウンサー集合！
FUTUREトークバトルショー「10年後の未来ってどうなるの？」

11:00 ～ 11:45	司会：伊藤利尋（フジテレビ） 出演：小川知子（TBS） 内田恭子（フジテレビ） 河野明子（テレビ朝日）	あの「ホリエモンvsフジテレビ」の例を引くまでもなく、デジタル化の波は、テレビ局にも押し寄せています。そんな中、女性アナウンサーの仕事は、どんな変化を遂げようとしているのでしょうか？ テレビジャーナリズムの行く末は？ 華やかさの裏側の意外な素顔もまじえて、塾出身の人気女性アナウンサー3人が、「めざましテレビ」でおなじみの「アミーゴ伊藤」アナウンサーの司会で、トークバトルを繰り広げます！
	 伊藤利尋 1995年法学部卒	 小川知子 1995年文学部卒
	 内田恭子 1999年商学部卒	 河野明子 2001年法学部卒

GO FOR THE FUTURE コンサート
「未来へ導くミュージックライブ」第一部

12:30 ～ 13:15

国境、宗教、民族、経済などで、様々な「歪み」が見え始めた現代。すべての人類をつなぐ「言葉」は、失われつつあるようにも見えます。そんな中、私達の「希望の灯」になりそうなもののひとつが、音楽です。世界中の誰もが共感できる「想い」を旋律に乗せて・・・。
「未来を導くミュージックライブ」第1部には、新進気鋭の美人ヴァイオリニスト・川井郁子さんが登場。日吉の丘に響き渡る、澄み切った音色に心癒されてください。



川井郁子（かわい・いくこ）ヴァイオリニスト・作曲家

香川県高松市出身、東京芸術大学卒。同大学院修了。現在、大阪芸術大学（芸術学部）教授。類いまれなる感性和確かな表現力で才能を発揮、国内外オーケストラのほか、ジプシーキングス、東儀秀樹、バレエ・ダンサー熊川哲也らと幅広く共演。昨年2月リリースの最新アルバム『AURORA』はクラシック・チャート第1位を獲得、好評につき同名のDVDもリリースされている。さらに活動の場はTV、CM映画など多岐にわたり、自身初のフォトエッセイ『レッド・ヴァイオリン〜光と影を抱いて〜』も注目を集めた。
使用楽器：アントニオ・ストラディヴァリウス（1715年製作、大阪芸術大学所蔵）
川井郁子ホームページ <http://www.ikukokawai.com/>

GO FOR THE FUTURE コンサート
「未来へ導くミュージックライブ」第二部

13:30 ～ 14:15

「未来への先導者たち」の大会テーマにふさわしく、歌や映画に大活躍の一青窈（ひとと・よう）さんが、日吉記念館のステージに登場。
慶應スピリットあふれる叙情豊かな歌声で、聴く人の心を揺さぶります。デビュー曲「もらい泣き」や、「ハナミズキ」など心に沁みる名曲の数々をお楽しみください。



一青 窈（ひとと・よう）歌手・作詞家

2000年、慶應義塾大学環境情報学部（SFC）卒業。日本人を母に、台湾人を父に持つ。2002年10月『もらい泣き』でデビュー。2003年、日本レコード大賞、日本有線大賞でそれぞれ最優秀新人賞を獲得。2004年2月発表の『ハナミズキ』も大ヒット、日本有線大賞有線音楽優秀賞、ベストヒット歌謡祭ゴールドアーティスト賞などを受賞。03年・04年と連続2年、NHK紅白歌合戦に出場している。また侯孝賢監督の映画『珈琲時光』に主演、今年日本アカデミー賞新人俳優賞などに輝き新境地を拓いた。独自の作風を持つ作詞力は定評があり、中村雅俊の新曲「空蟬（うつせみ）」も手がけた。2005年4月、6枚目のシングル『影踏み』発表。

※なお、GO FOR THE FUTURE コンサート「未来へ導くミュージックライブ」にご入場の際には、大会券の提示をお願いします。